

## (3) 障がい者スポーツ指導員基準カリキュラム

## 1) 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会（21.0時間以上）

領域	講習科目	内容	時間	
人間力	思考判断	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	スポーツにおけるインテグリティを理解し、プレイヤーズファーストの視点やプレイヤーとともに学び続ける姿勢について学ぶ。	1.5
		障がい者スポーツの意義と理念	障がい者にとってのスポーツの意義と理念を理解する。	1.5
	態度行動	コミュニケーションスキルの基礎（※演習含む）	障がい者スポーツ指導者として必要なコミュニケーションスキルやソーシャルスキルの基礎を学ぶ。実践、演習を通して人前で話すこと、相手の意見を傾聴することを体験する	1.5
		障がいのある人との交流（※実技、実習可）	スポーツ活動をしている障がい当事者の体験談を聞いたり、スポーツ活動現場に出かけるなど、障がい者とのふれあいを通じ、障がい者にとってのスポーツの必要性・意義・価値を学ぶ。	1.5以上
		障がい者スポーツ推進の取り組み	資格を取得した後に、地域で行われている教室や大会等へ積極的に関わられるように、地域の障がい者スポーツ振興の現状について学ぶ。	1.5
	障がい者スポーツに関する諸施策	わが国の障がい者福祉施策（障害者手帳を含む）および障がい者スポーツに関する施策（スポーツ基本法やスポーツ基本計画など）について学ぶ。	1.5	
知識技能	共通	安全管理	スポーツを実施する際の安全管理の基本的な項目と内容を学ぶ。（ヒヤリハットや指導者の安全配慮義務、AED、応急手当など）	1.5
	専門	各障がいの理解	各障がいの主な特性や、実際のスポーツ活動場面で活かせる各障がいに関する知識と指導上の配慮点を身につける。 <身体障がい3時間（肢体不自由、視覚障がい、聴覚・音声言語障がい、内部障がいを含む）、知的障がい（発達障がいを含む）1.5時間、精神障がい1.5時間>	6以上
		各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫（※実技）	障がいのある人が、スポーツやレクリエーションを安全に楽しむためのルール・用具の工夫の仕方や、指導員としての留意点・接し方について実技を通して学ぶ。	3以上
	全国障害者スポーツ大会の概要	全国障害者スポーツ大会の基本理念など大会の概要及び大会開催の目的や意義について学び、大会がスポーツ未経験者や初心者へのスポーツ参加の動機づけになっていること、地域のスポーツ振興を進める契機となっていることを学ぶ	1.5	
時間数			21時間以上	

## 2) 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会（57.0時間以上）

領域	講習科目	内容	時間	
人間力	思考判断	スポーツの意義と価値（※演習含む）	3	
	態度行動	障がい者スポーツ指導員としてのキャリア形成（※演習含む）	3	
		地域における障がい者スポーツ振興	1.5	
知識技能	共通	身体の仕組みと体力づくり	3	
		救急処置法（※実技）	3	
		リスクマネジメント	1.5	
		スポーツ心理学 I	1.5	
	専門	障がい各論	12以上	
		障がい者のスポーツ指導における留意点	4.5	
		全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則（※実技）	12	
		全国障害者スポーツ大会の歴史と目的・意義	1.5	
		全国障害者スポーツ大会の実施競技と障害区分	3	
		全国障害者スポーツ大会選手団編成とスタッフの役割	1.5	
		補装具の理解	1.5	
		発育・発達に応じた指導法	3	
		最重度の障がい者のスポーツの実際（重症心身障がい児・者を含む）（※見学・実技可）	1.5	
		時間数		57時間以上